

世界恒久平和実現祈願

日本国憲法の第一条と第九条

第一条〔天皇の地位・国民の主権〕天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。

第九条〔戦争の放棄、軍備及び交戦権の否認〕

① 日本国民は、正義と秩序を基調とする

国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

今上天皇の大御意志を以って 日本武尊が民草和氣の剣を納められた熱田神宮の元宮、名古屋市緑区大高町日神山地内、尾張族が伊勢生成の神をお祀りした地に、全世界の戦争殉難者の御霊処として世界平和神宮院と、日本国憲法九条の生み親、昭和天皇を竝宮として 昭和神宮建設を以って日本国憲法第九条を日本から全世界の九条へ普遍為し、世界恒久平和の実現と成る事を祈願申し上げます。

そして其の上で、神佛が降し置かれた賜物、風光明媚な国土と、恵まれた温泉を生かしながら、この度、我が民族の文化遺産の多くが、世界遺産として登録されたを記に、我が大和民族の歴史の彦根であり、
まず、人類の安全を保障する、大和詞の真髓「始めに詞ありき」と

証明された、人間人類の安全保障を取り戻す為に、今改めて大和民族の
意志・靈魂「大和詞」を以って、人類最大の悲劇、広島・長崎を全
世界に伝える為に、一大世界平和環境観光産業を興し「国是」と為し、
世界の平和に貢献する事を日本国「骨絲」御血知瑠辺と、お示しに
成られたので御座居ました。

世界平和に貢献する

日本国「骨絲」道しるべ

昭和二十年八月十五日の事に、人類を代表される天皇「昭和天皇」御一人に全
責任を負わせ、天皇の名の下に呼び出され戦死した者の怨魂、この様な死は我等
だけでよい、二度と戦争の無い国を、世界を切望、死に行きし絶無の靈魂の為に、
二度と戦争を仕ない生魂を以って、無条件降伏された昭和天皇の生魂を其の儘

に、日本国憲法の第一条と第九条に据え置かれ、停戦と同時に日本国を世界平和
の聖国と遊ばされたので御座居ます。

なれど昭和天皇が御崩御遊ばされるや否や、日本国憲法の第九条の改正を、公
然と唱える者が現れたのでは捨て置けず、神罰をお掛けに成り始められ、既に拾
余年の歳月が流れて居るのです。

人類の元生産親の生命継承権憲邪(太元帥明王さま)は、人類発祥の十九組の
女男に因む十九名の国常立尊を以って、初代内閣を組閣された天照内閣の
御靈魂の総てを、熱田神宮にお集めに成られ、続いて第七代の饒速日内閣(神武
天皇に無血を以って国譲りされた饒速日天皇の閣僚が出雲に島流しになられた
方たち)の御靈魂の総てを、島根県松江市和多見町に御座居ます、賣布神社にお
集めに成られたので御座居ました。

そして其れまでは天皇とお呼び申し上げていましたがお名前を天皇と改めに

なられた天照天皇の名代として、中丸薫を平成十二年一月二十八日に賣布神社めふじんじやに使つかわせになり、一月三十一日に愛知県名古屋熱田区に御座居みたまます、民草和氣くさなき神宮じんぐう(熱田神宮)に集こわせに成り、天照天皇の時の国常立尊くにたかたちのみこと十九名の御靈魂みたまと、饒速日天皇の時の十九名の国常立尊くにたかたちのみことの御靈魂みたまとの、三十八魂を以もつつて熱田神宮を三八子みやことされ賜たまいたので御座居みたまました。

そして熱田神宮の前進であります氷上姉子神社は太古の昔速素佐之男尊はやすさのおのみことが、兄、天照天皇の本よりお授あづかりされた、伊勢生成十種之神鳳いせいなりとくさのしんほう「民草和氣の御神氣」現在の日本国憲法第九条の御神聖ごしんせいをお祀まつりに成られた場所で御座居みたまます。それ故に倭姫命やまとひめののみことが伊勢神宮の宝剣ほうけんでありました「絶対に争い戦いを致さぬ」を誓ちかう「御難賛助の御誓約」民草和氣の神剣を、日本武尊やまとたけるのみことに命めいじ運ゆばせに成られたのでございます。その場所「日神山」に、全世界の戦争殉難者の御靈魂みたまをお祀まつり申し上げる、世界平和神宮院を建設させる為ために、三十八柱の国常立の御靈魂みたまをお集あいに成られ、其の準備にお入りに成られたので御座居みたまました。

国を憂うれる大和靈魂やまとたましいの復活ふっかつ

生命継承権憲邪せいめいけいしょうけんけんじや(太元帥明王さま)は、国思こいしう意志いしの復活ふっかつの為に、幕末の動乱の中に在あって、孝明天皇の国思こいしう情念じねんが、妹皇女かすのみや「和宮」と有栖川家との婚約はきを破棄はきしてまでに、国の安寧国民の志合あんないこくみんわせの為に、意志いしを砕くだかれた孝明天皇と皇女和宮の御靈魂かすのみやと有栖川熾仁親王の御三方あづのみやの御意志あづのみやを蘇よみがえらせる為に、有栖川家を復権遊あづのみやばされ、一日も早い世界平和神宮院の建設をお望ありすみに成ると共に、四津の骨絲よつを天降あまくたし遊あそばされたので御座居あそました。(平成十五年)

四津の骨絲

一津には、生命を正しく理解する事

私達の生命をお生産出しに成られた絶対なる五神力氣は、丹光をお生産出しに成ります日輪太陽と、其の丹光をお受け留めに成る宇宙産迂迦の障壁賀の神力氣と、宇宙産の障壁賀にて丹に知瑠恵を以って生をお與えに成り、丹生魂血種遺伝子をお生産出しに成ります神力氣と、潮の満ち干をなさる月津の神力氣と、統べての生命をお生産出しに成ります生産土の地球神力氣との五神力氣に依る物で御座居ます。

宇宙産迂迦の障壁賀より御降臨遊ばされた三大太元帥、植物・動物・人間の生命継承権憲邪により、私達「植物の雄蕊と雌蕊」・「動物の雄と雌」・「人間の男と女」の生命が生産出されて居るのです。この事を と の三位一体の神仕組みと申すので御座居ます。

二津には「日の丸」「君が代」に付いて

日の丸の旗印は、真中に丹朱を以って真っ赤に染め抜かれて居る丸は、天津彦根に成って居ます「天一個目命」「日輪太陽を現したので御座居ます。

白地の部分は、私達「植物」と「動物」と「人間」が、三位一体と成って生かされて居る、無色で透明の真空光帯の施津を現わされて居るのです。

君が代とは、私達三位一体の生命を生産出された、絶対成る五神力氣と総要の神力氣と、私達「植物」と「動物」と「人間」の生命を直接に身生れ下さった、静津と動津と理津を司り、生命の安寧をお守り下さっている、生命継承権憲邪(三大太元帥明王)の代の事でありませす。生命界では大丹生家天皇の代で御座居ます。

三津には、産業のことで御座居ます。

産業廃棄物を輸出したり、輸入したり仕手いる産業は産業では無いのです。それは単なる金儲けの手段で在る為に、統べての生氣物人間の生命まで守る事の出来ない産業は、産業とは言え無いのです。

統べての生命を養い守って行くのが産業であります。捨てては成らぬ産業廃棄物を人間の住む山の上に捨てたり、煙突を高くして私達息氣物の頭上に浴びせ掛けなければ成らぬ産業を、産業と言って居て良いので有りますでしょうか……。

本来の産業は生氣物の生命を守り育ててゆく仕事が産業で在った筈です。其れが何時しかお金儲けが産業と言われる様に成り、世界第二位の産業立国と成り、止めども無く其の産業発展の為に多くの国費が使われ、食べ物を生産する第一次産業産品は輸入すれば良いと言うのでは、日本国は滅び行くしかないので。其の事を確と胸に置き、改めて産業を考え直して見る時に来て居るのです。自由貿易に囚われる事無く、自国の国民が必要とする物だけを、自国で100%生産する事を最当に仕行く時に、統べての人々に職業が在り、誰もが安心して家庭を営む

事が出来て、原子力発電所からの放射能汚染から解放されるで在りましょう。

それには公害加害者も被害者もなく薄れ行き、施し助け合いの生命界の中で、誰しもが志合わせに生息る事が出来るで在りましょう。

四津には、一大世界平和環境観光産業を興す事

この麗しく美しい日出ずる日ノ本の国は、七十六音七六の靈現言靈を以って、人間人類の安全を保障する大和詞を阿弥生産出した「大和意志」靈魂の国なればこそ、真の恒久世界平和の至誠「戦争を国権の発動と認めない」靈魂、靈魂が憲法第九条を誕生させた国で御座居ます。

愛知県名古屋市緑区大高町日神山に、全世界の戦争殉難死された総ての御靈魂をお祀り申し上げる、世界平和神宮院を建設為し、戦争を国権の発動と認めない靈魂の「生産親」昭和天皇の御靈魂をお迎え申し上げなければ成らぬのです。

そして其の上で、神佛が降り置かれた賜物、風光明媚な国土と、恵まれた温泉を生かしながら、この度、我が民族の文化遺産の多くが、世界遺産として登録されたを記に、我が大和民族の歴史の彦根であります、人類の安全を保障する、大和詞の真髓「始めに詞ありき」と証明された、人間人類の安全保障を取り戻す為に、今改めて大和民族の意志・霊魂「大和詞」を以って、人類最大の悲劇、広島長崎を全世界に伝える為に、一大世界平和環境観光産業を興し「国是」と為し、世界の平和に貢献する事を日本国「骨髄」御血知瑠辺と、お示しに成られたので御座居ました。

合掌

平成十八年八月八日（火）

三代目 東核芒種大伝道師

加古藤市

愛知県大府市明成町一丁目一七五

TEL・FAX〇五六二 四四〇七〇八